

菌床シイタケ

J A秋田 おばこ 秋く冬収入が定着

5年で販売1億円増

【秋田おばこ】J A秋田おばこしいたけ部会は19日、菌床シイタケ実績検討会を大仙市で行い、2011年度の販売額が3億円を突破したことなどを報告した。秋から冬にかけて収入が安定していることから生産者、出荷量ともに増え、ここ5年で販売金額は1億円も増えた。同部会は、新規作付け者への指導を強化し、さらなる産地拡大を目指す。

同部会の生産者は5年前から18人増え11年度は60人に、出荷量は130トン増え同316トンにそれぞれ増えた。J Aは生産拡大に向けた説明会などを開き、新たな生産者を増やしてきた。

11年度は、出荷数量が316トン(前年比107%)、販売額が3億1500万円(前年比106%)となり、いずれも前年度を上回った。9月下旬からの全国的な品薄や12月の年末需要などで高単価推移が続いたことや、出荷が増加した月がうまく分散できたことなどが要因。

同日の検討会には、部会員、出荷先市場担当者、J A役員など約60人が参加。出荷先となる関東市場4社と地元市場2社の担当者との意見交換をした。

同部会は、12年度の目標販売額を3億6000万円に設定。さらに生産者のレベルアップと生産意欲の向上を図るため、各生産者を毎月訪問する巡回指導に加え、生産者個々の月別販売実績表を配布している。

高橋秀嗣部会長は「同じ目的意識を持ちながら産地を強化していきたい。風評被害など厳しい面もあるが、今こそ一丸となるべき」と話した。